

- ② 下水道の整備で浸水対策
- ③ 街の話題/コラム
- ④-⑤ 特集 ストップ外来生物
- ⑥ お知らせ
- ⑦ 第71回あつぎ鮎まつり

県内
初

ドローンの運用を開始 消防活動を 空から支援



ドローンとは

遠隔操作や自動制御によって無人で飛行できる航空機の総称。センサーにより障害物を自動で回避できるほか、バッテリーが少なくなる前に自動で帰還するなど安全機能を持つ。

- ・機体寸法 350^{mm}
- ・機体重量 約1.4^{kg}
- ・最大飛行時間 約30分

あつぎ 元気Wave

ケーブルTV8/1~

ドローンについて紹介

ドローンの飛行には、周囲を確認する指揮者(左)操縦者(中央)と補助者の3人が必要



操縦者のモニターにはドローンからの映像が映し出される



ドローンが撮影した画像。隊員が近づけない場所も空から確認することができる

「発進準備よし」「発進します」。白い機体が隊員の合図とともに勢よく飛び立ち、自由自在に空を駆け巡る。消防活動の新たなツールとして、県内で初めて運用を開始した小型無人航空機「ドローン」だ。

導入したドローンは、上昇、下降、旋回、静止を離れた場所から自在に操縦でき、機体下部に取り付けられた高性能カメラで鮮明な映像を映し出す。これにより、土砂崩れや水難救助の現場で、隊員に代わって空から広い範囲を検索することが可能となる。大規模災害の発生時には、上空から被害状況を撮影し本部に連絡するなど、消防活動で大きな役割を果たすことが期待されている。

災害現場への投入に向け訓練を重ねる隊員たちは「要救助者の発見や二次災害の危険性の把握など、より早急な人命救助につなげることができると意気込みを見せる。消防活動を空から支えるドローン。白い翼が命をつないでいく。」

閻防課 ☎ 223-9368

Zoom Up

水害のないまちを目指して

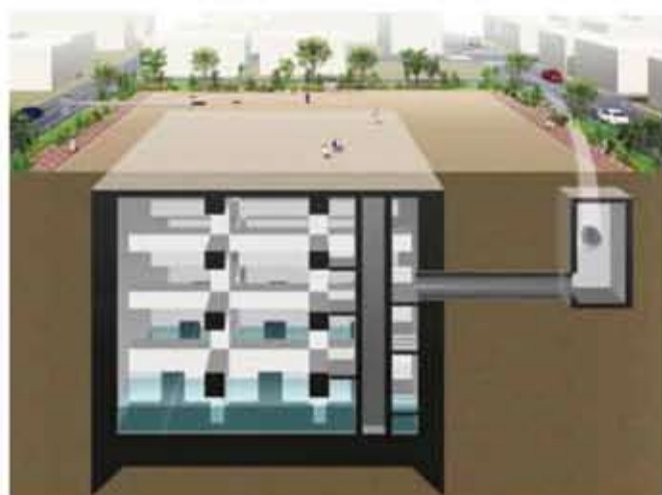
下水道の整備で浸水対策

近年、台風やゲリラ豪雨などの局所的な大雨が、各地でさまざまな被害をもたらしています。本市でも平成25年に甚大な浸水被害が発生。いざというときに被害を最小限に抑えられるよう、市では、下水道の整備による浸水対策を進めています。

下水道は、台所やトイレ、浴室など家庭から排出される汚水を処理するとともに、雨水を効率的に排水する役割を担っています。市内の下水道は現在、汚水と雨水を分けて整備していますが、昭和40年代、市内で最初に整備した本厚木駅周辺の設備は、その後整備された郊外のものに比べて排水能力が低く、近年のゲリラ豪雨などの大雨に備えた対策が急務となっています。



大雨でマンホールから水が噴き出すことも



あさひ公園の貯留施設イメージ（平成31年度完成予定）

設備の拡充で排水能力向上

平成25年4月6日、市内で観測史上最大の記録となった1時間当たり65mmの大雨が降り注ぎ、本厚木駅周辺で床上浸水や床下浸水など多くの被害が発生しました。これを受けて市では、既存の下水道施設を活用した対策を模索するとともに、浸水被害軽減対策事業を立ち上げ、排水能力を向上させるための検討をスタート。今年5月には、本厚木駅からほど近いあさひ公園（旭町）の地下に、雨水を一時的に貯めて

おける新たな貯留施設の設置工事に着手しました。

建設される雨水貯留施設は、約1万4千立方メートル（小学校のプール約40杯分）の水を貯留することができ、さらに、厚木北地区に長さ960メートルの雨水貯留管も設置予定。これらを整備することで、駅周辺の排水能力を1時間当たり40mmから51mmに引き上げることができ、25年の大雨と同等の降雨に見舞われても床下浸水などを防ぐようになります。

浸水を想定した備えを

市ではこの他、大雨による市内各地

異物を流さないで

下水道にゴミや油などを流すと管が詰まる原因となり、大切なライフラインを脅かします。適切に利用しましょう。



台所
残飯や食用廃油などを流さない

側溝
ビニール袋や木片などを捨てない

詳しくは

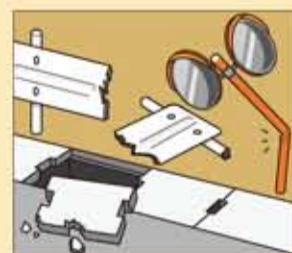
8月は「道路ふれあい月間」、8月10日は「道の日」 道路の損傷発見にご協力を

道路が損傷していたり、カーブミラーが見えにくくなっていたりすると事故の原因になり大変危険です。道路の損傷などを発見した時は、市へ通報をお願いします。

こんな時には連絡を

- ・道路に陥没などの穴がある
- ・ガードレールが壊れている
- ・カーブミラーが曲がっている
- ・側溝のふたが破損している

●道路維持課 ☎225-2339



24の事業者と連携して安全を確保

市では、日々道路を走行する郵便局や新聞販売店などと協定を結び、道路の損傷の発見と通報をお願いしています。6月には環境みどり公社とも協定を締結し、連携の輪を広げています。

●道路管理課 ☎225-2300

道路里親制度で道路をきれいに

市道の清掃や草花の植付け管理をするボランティアを支援しています。地域や職場の仲間と一緒に活動に参加してみませんか。

詳しくは

●道路維持課 ☎225-2339

下水道の適正利用を

下水道の役割で忘れてはならないのが、汚水を排水する機能です。私たちが生活で使用し汚れた水が滞留してしまふと、虫や悪臭の発生源となり生活環境を悪化させるだけでなく、汚れが管の中に堆積して詰まってしまうこともあります。日常生活に大きな支障をきたすため、日ごろから適正な利用を心がけることが大切です。

下水道は、将来にわたり使用する共有の財産。供用開始から約50年が経ち、老朽化なども懸念される今、排水

マンホールカード

市のマンホールを紹介する「マンホールカード」を下水道施設課窓口で配布しています。カードは全国で222種類（8月1日時点）あるうちのひとつ。デザインの由来や市の魅力などの豆知識も掲載しています。身近なご当地カードを集めてみませんか。

無料配布中



問下水道施設課 ☎225-2363

能力の維持・管理は大きな課題です。いざという時のためにも、下水道の適正な利用にご協力をお願いします。

●下水道施設課 ☎225-2370（浸水対策）
●下水道総務課 ☎225-2361（適正利用）

未来へつなく新たな交流 糸満市小学生訪問団との交流会を開催



熱戦の中で絆を深めた両市の子どもたちは、市内の中学生4人を糸満市に派遣。今後も文化・平和学習を通して両市の友好関係を深めるなど、友好都市締結に向けた取り組みを進めていきます。

新たな友好都市候補地の沖縄県糸満市と交流を深めようと7月8日、南毛利スポーツセンターでミニバスケットボール交流会が開かれました。交流会には、糸満市の小学生訪問団と厚木市内の小学生・高校生など49人が参加し、ゲームを通して親睦を深め、交流の第一歩を踏み出しました。糸満市の比嘉秀語さん(12)は「大好きなバスケットで厚木の子たちと仲良くなくてうれし」と笑顔を見せていました。また、7月末には、市内の中学生4人を糸満市に派遣。今後も文化・平和学習を通して両市の友好関係を深めるなど、友好都市締結に向けた取り組みを進めていきます。



清水小が4年ぶりに全国へ 交通安全こども自転車神奈川県大会で優勝

県内の小学生が自転車の運転技能などを競う「交通安全こども自転車神奈川県大会」が、7月1日に横浜文化体育館で開催され、清水小学校が見事優勝。4年ぶりに全国大会への切符を手に入れました。大会は、競技を通じて自転車の安全な乗り方を身に付けてもらおうと毎年開催され、今年で48回目になります。4人1組の全17チームが、横断歩道や踏切、狭いコースを走行する安全・技能の実技テストなどに挑みました。出場した6年の志水勇大さんは「4年前に全国大会に出場した姉の姿を見て始めたので、とてもうれしい。姉を越える良い成績を残せるよう、残りの練習も全力を尽くしたい」と意気込みました。



4年ぶりの快挙を達成した清水小チーム

目指せ、レスリング世界一 中学生全国大会優勝の鈴木さんが市長を訪問

「第43回全国中学生レスリング選手権大会」男子66kg級で優勝した依知中学3年の鈴木大樹さんが市役所を訪れ、小林市長や曾田教育長らに優勝の喜びを報告しました。大会は6月10日、11日に開催され、男子66kg級には全国から43人の選手が参加。鈴木さんは、得意のタックルで全国の強豪選手を相手に次々と勝利を収め、見事優勝しました。「毎日の厳しい練習が自信につながった」と話す鈴木さん。「将来はオリンピックに出場し、金メダルを取りたい」と闘志を燃やします。



賞状を手にとるさらなる闘志を燃やす鈴木さん

親子で楽しく体を動かそう ひろみちお兄さんと親子で運動遊び

6月24日、NHKの教育番組で「ひろみちお兄さん」としておなじみの佐藤弘道さんによる親子体操教室が、荻野運動公園で開催されました。会場には、3歳〜小学2年の子どもと保護者およそ700人が集まり、親子一緒に体操や運動で汗を流しました。教室は、平成27年に「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結した学校法人日本体育大学(日体大)の協力を得て開催。教室の中でひろみちお兄さんは「子どもが幼い今しかできない運動遊びで、親子のふれあいを楽しんで」と話しました。市では、8月末に、日体大で講義や実技指導を体験できる「スポーツキャンプ」を開催。世界で活躍するアスリートとの育成に取り組んでいきます。



親子で楽しむ運動を教えるひろみちお兄さん(中央)

ATSUGI X NEW ZEALAND
ホストタウン通信

今年もやります!
あつぎNZフェア

併せて開催された「あつぎNZフェア」。ホストタウンとなったNZの食文化を多くの人に知ってもらおうと、ラムチョップやマヌカハニーをはじめとした代表的な食べ物やドリンク、ワインなどを販売し、祭りの来場者を喜ばせました。今年も中町公園に場所を移し、フード・ドリンク類の販売の他、旅行会社によるNZ旅行の相談ブースや市ホストタウン交流事業のPRブースを設置。さらに、新たな友好都市候補地の沖縄県糸満市による糸満フェアも同時開催します。8月5日の17時から、厚木なかちょう大通りのステージで「ハカ」をはじめとしたマオリ族伝統舞踊を披露しますので、皆さんぜひ楽しみにしてください。

2020年東京オリンピック・パラリンピック(東京五輪)に向けて、ホストタウンとなったニュージーランドとの交流事業などを紹介します。

企画政策課 ☎225-2451

ひとまち
元気

市長 小林孝良

オレンジリング。蛍光色の鮮やかな腕輪は、認知症の方やその家族を手助けする「認知症サポーター」の目印です。高齢化社会の進展とともに、役割への期待が高まっています。高齢になればなるほどリスクが上がるのが認知症。2025年には高齢者の5人に1人が発症するといわれ、地域を挙げた見守りやネットワークづくりが求められています。市では昨年、「地域包括ケア

優しい心で認知症と向き合うことは地域包括ケア社会に不可欠です。誰もが住み慣れた地域で自分らしく最期まで暮らせるよう、温かなオレンジの輪をもっと広げたいと思っています。

3役でオレンジリングを取得
市内には約8500人のサポーターがいますが、増加する発症者を考えるとまだまだ足りません。病気を正しく理解し、

社会」を旗印に、認知症への的確な対応に向けた職員への普及を進めています。すでに福祉部の職員(120人)が講座を受け、7月には目標とする全職員の受講に向けて私と副市長、教育長がオレンジリングを取得しました。



オオキンケイギクの駆除活動に取り組む相川小学校の児童



公園内の田んぼに設置したわなを確認

日が暮れて間もない小川のほとりに、何百匹ものホタルが飛び交います。柔らかに放たれる光は幻想的で、日本の原風景を思い起こさせます。

近年、私たちの身近な自然環境で、動植物の生態に危険が及んでいます。原因は、本来その地域には生息せず、人間などによって他の地域から持ち込まれた外来生物。中には生態系に影響を与えるものもあり深刻な問題になっています。今回は、外来生物の対処をはじめとする自然環境の保全について考えます。

特集 ストツプ外来生物
外来生物を持ち込まない!!
あつぎ 元気Wave ケーブルTV8/11 外来生物の対処を紹介

三原則を守って 被害拡大の防止を

東京農業大学 農学部野生動物学研究室 教授 松林尚志さん(45)

最近、ニュースでも話題になっている強毒を持つ外来生物の「ヒアリ」。国内の港で相次いで見つかり、大きな問題となっています。一度繁殖を許してしまうと生態系に大きな影響が出るばかりか、私たちの健康にも被害が及ぶことが想定されます。

外来生物の侵入には、主に二つの要因が考えられます。ペットや家畜、緑化や園芸など人の手によって意図的に侵入するケース。そして、人や物が移動するときに付着、または、航路や空路など交通網の発達に伴って、荷物に紛れるなど非意図的に侵入してくるケースがあります。

ペットや鑑賞用として意図的に侵入した場合、飼い主が責任を持って最後まで飼育することが大切です。野外に逃げ出したり放つたりすると、自然環境に大きな影響を与えかねません。外来生物被害予防の三原則(下欄参照)をしっかり守り、被害を拡大させないようにしましょう。

外来生物被害予防の三原則
ポイント1 入れない 外来生物をむやみに日本に入れない
ポイント2 捨てない 飼っている外来生物を野外に捨てない
ポイント3 広げない 野外にすでにいる外来生物は、他の地域に広げない



みはる野自治会では150坪のオオキンケイギクを駆除

「きれいな花」「黄色いじゅうたんみたい」。5月から7月ごろにかけて、相川小学校の東側を流れる相模川の土手沿いに、色鮮やかな黄色い花が一面に咲きました。これは近年、市内各所で繁殖が確認されている特定外来生物「オオキンケイギク(下欄参照)」です。見た目の美しさとは裏腹に強い繁殖力で在来の野草を減らし、周辺の景観を一変させる危険な植物です。「年を追うごとに繁殖を上げるオオキンケイギクに、危機感を持っていた」という相川小学校の教職員たちは平成27年、駆除作業を一念発起。地域の自然環境を守る住民組織「水辺の楽校ほほえみの会」の協力を得て、全校児童とほほえみの会による駆除活動がスタートしました。

オオキンケイギクの駆除は、類が生息する本来の森を取り戻すことに成功しました。刈り取らず根を残さぬように引き抜くのが効果的。抜いたものは、種が飛散するのを防ぐためビニール袋に入れて枯死させた上で、可燃ごみとして処分します。今年、駆除作業では、一本一本を手で引き抜き、丸一日掛けて70kgのビニール袋28袋、重さにして約250kgのオオキンケイギクを駆除しました。一面黄色で覆われた河川敷は、ようやく新緑の映える本来の姿を取り戻しました。子どもたちは「きれいだったので、危険な花だとは思わなかった」「生懸命駆除したので、来年は生えないでほしい」と、作業の中から外来生物の及ぼす影響などを学びました。土手に繁殖したオオキンケイギクは、昭和50年頃にポピーやコスモスなどと一緒に植えられた一部が繁殖したものといわれ

生物の個性とつながりを守るため
地球上には、3000万種ともいわれる多様な生きものが存在します。これらの生命の一つ一つに個性があり、全てが直接、あるいは間接的に支えあって生きています。外来生物は、こうした生物の多様性を侵す存

驚異的な繁殖力で生息域を拡大
「きれいな花」「黄色いじゅうたんみたい」。5月から7月ごろにかけて、相川小学校の東側を流れる相模川の土手沿いに、色鮮やかな黄色い花が一面に咲きました。これは近年、市内各所で繁殖が確認されている特定外来生物「オオキンケイギク(下欄参照)」です。見た目の美しさとは裏腹に強い繁殖力で在来の野草を減らし、周辺の景観を一変させる危険な植物です。「年を追うごとに繁殖を上げるオオキンケイギクに、危機感を持っていた」という相川小学校の教職員たちは平成27年、駆除作業を一念発起。地域の自然環境を守る住民組織「水辺の楽校ほほえみの会」の協力を得て、全校児童とほほえみの会による駆除活動がスタートしました。

類が生息する本来の森を取り戻すことに成功しました。刈り取らず根を残さぬように引き抜くのが効果的。抜いたものは、種が飛散するのを防ぐためビニール袋に入れて枯死させた上で、可燃ごみとして処分します。今年、駆除作業では、一本一本を手で引き抜き、丸一日掛けて70kgのビニール袋28袋、重さにして約250kgのオオキンケイギクを駆除しました。一面黄色で覆われた河川敷は、ようやく新緑の映える本来の姿を取り戻しました。子どもたちは「きれいだったので、危険な花だとは思わなかった」「生懸命駆除したので、来年は生えないでほしい」と、作業の中から外来生物の及ぼす影響などを学びました。土手に繁殖したオオキンケイギクは、昭和50年頃にポピーやコスモスなどと一緒に植えられた一部が繁殖したものといわれ

※特定外来生物
外来生物のうち、海外から入ってきた動植物で日本の生態系に被害を及ぼすと外来生物法で指定されたもの。現在132種が指定されている。



東京農業大学の学生と協力してウシガエルを捕獲する諏訪部さん(右)

外来生物が及ぼす影響
日本固有の生態系への影響: 在来生物と交雑、雑種をつくる。在来生物を食べる。
人の生命、身体への影響: 毒を持つ。人をかんだり刺したりする。
農林水産業への影響: 農林水産物を食べる。畑を踏み荒らす。

気をつけて!身近な外来生物 外来生物の危険性を学ぼう
ザリガニ釣りなどの体験を通じて、外来生物が及ぼす環境への影響や対処方法などを学びます。
《日時》8月22日、10時~12時
《会場》厚木中央公園
《対象》小学生以上の方
《費用》無料 当日直接会場へ。
環境政策課 ☎225-2746

アメリカザリガニ
大きいものになると、体長15センチほどになる。農業被害や、水生昆虫を捕食するなどの悪影響を及ぼす。

ウシガエル
体長20センチほど。口に入る大きさであれば、昆虫やザリガニの他、小型の哺乳類や鳥類までも捕食。

アライグマ
ペットとして輸入されたものが野生に放たれ繁殖。気性が荒く農作物や小動物を食い荒らす。

アレチウリ
北米原産のウリ科の植物。生育速度が早く群生する。マント状に広がるため、下の植物を枯らせてしまう。

アメリカオニアザミ
キク科の1~2年草。7~10月に紅紫色の花を咲かせる。鋭く堅いとげを持つため、駆除には注意が必要。

オオキンケイギク
北米原産のキク科の植物。高さ30~70センチ、直径5~7センチの黄色の花をつける。市内各所で繁殖を確認。

写マップあつぎ 外来生物調査隊
外来生物を発見したら、スマートフォンで撮って投稿してください。いただいた情報を元に効果的に駆除します。
詳しくは 写マップ 検索

厚木で舞うホタル
初夏の到来を告げる幻想的なホタルの光。古くから人々の心を癒してきました。今年、あつぎこどもの森公園では、たくさんのホタルの光が確認できました。
撮影/市民リポーター大坪政文

タウンガイド

8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

マイタウンクラブ
 ①印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「①②」と記されたものは、申し込みもできます。
 ●=申し込み ●=問い合わせ
 ☎=電話番号 ☎=ファクス番号
 ✉=Eメール 🌐=市ホームページ
 Ⓞ=GENKI ポイント対象事業

ができる方(講習会の受講が必要)。
《講習会》9月13・15日(全2回)、9時30分~17時。あつぎ市民交流プラザ。託児あり(1歳以上10人。8月31日までに要予約。先着順)。
 ②子育て支援センターにある申込書に証明写真2枚を添えて、9月6日までに直接、ファミリー・サポート・センター☎225-2933へ。

市民協働事業提案制度「行政提案型」の団体を募集

市と一緒に地域の課題やまちづくりに取り組む団体を募集します。

《対象事業》「落書き消去活動などの体験事業(落書き消去活動の指導やサポート)」「子ども食堂事業(子ども食堂の実施、子どもの新たな居場所づくり)」
《応募資格》①市内に活動拠点がある②3人以上の役員、5人以上の市民がいる③会則などがあり、適正に会計処理をしている④の全てを満たす団体**《経費》**報償費、消耗品費、印刷製本費などを市が一部負担。
 ⑤市民協働推進課や公民館などにある申請書(☎からダウンロード可)に必要事項を書き、8月25日までに直接、市民協働推進課☎225-2141へ。詳しくは手引きをご覧ください。

都市計画審議会の委員を募集

市の都市計画などについて調査・審議する委員を募集します。

《対象》①市内在住に勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年4回程度)に出席できる③他の付属機関などの委員でない④市の議員・職員でない⑤の全てを満たす方3人**《任期》**11月22日~(2年間)
《報酬》日額7800円(交通費含む)。
 ⑥都市計画課や公民館などにある申込書(☎からダウンロード可)に必要事項と応募動機を書き、直接または郵送、ファクス、Eメールで8月31日(消印有効)までに〒243-8511 都市計画課 ☎225-2401・☎222-8792・✉4600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。書類選考あり。

駅連絡所(えきちよこ)臨時休業

8月17日は、本厚木駅ビル休館日のため、連絡所業務と観光案内所業務を休業します。●市民課☎225-2110。

児童扶養手当・特別児童扶養手当現況届の提出

現況届は、前年の所得や児童の養育状況などを確認するものです。受給している方は、必ず届け出てください。対象者には事前に通知します。

《提出期間》児童扶養手当=8月1日~31日。特別児童扶養手当=8月10

日~9月11日。●いずれも証書と印鑑を持ち、直接子育て給付課☎225-2241へ。8月19・26日(8時30分~12時)は土曜日開庁を実施。

学校給食費コールセンター開設

学校給食費の納付をお忘れの方にオペレーターが電話で呼びかけます。コールセンターでは、ATM操作や指定口座への振込指示、自宅訪問はしません。詐欺にご注意ください。●学校給食課☎225-2683。

国民健康保険被保険者証を送付

新しい国民健康保険被保険者証を、9月中旬から簡易書留で送付します。窓口での受け取りを希望する方は、8月30日までに国保年金課にお知らせください。職場の健康保険に加入している場合などは、脱退の届け出をしてください。●国保年金課☎225-2122。

みんなの声でつくるまち

《意見交換会》

●地域福祉計画(第4期)及び高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第7期)の策定

8月10日、10時~12時。市役所本庁舎。●福祉総務課☎225-2200・介護福祉課☎225-2240。

●わがまち特例を導入した固定資産税等の特例措置に関する市税条例の一部改正

8月18日、19時~20時。市役所本庁舎。●資産税課☎225-2031。

●市環境基本条例の改正

8月22日、19時~21時。市役所本庁舎。●環境政策課☎225-2746。

いずれも申し込みは、当日直接会場へ。●1

《パブリックコメント》

●市緑の基本計画の改定

《閲覧期間》8月1日~31日 **《閲覧場所》**公園緑地課、荻野運動公園、ほうさいの丘公園、市政情報コーナー、各地区市民センター、本厚木・愛甲石田駅連絡所、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、保健福祉センター、☎《応募方法》閲覧場所にある用紙を備え付けの「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで〒243-8511公園緑地課☎225-2412・☎225-3027・✉4800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

【訂正】7月15日号の2面に掲載した「ピースメッセージ展示会」の開催時間は10時~17時、また、「第23回相模川灯ろう流しの夕べ」の開催日は8月19日でした。おわびして訂正します。

NZ カルチャーキャンプ

8月25日~26日(1泊2日)。七沢自然ふれあいセンター、飯山グラウンド。NZの国際理解講座や伝統アクセサリー製作、野外炊事、ホストタウン交流大使によるラグビー教室を体験。市内在住の小学生100人。3500円(食事代、材料費など)。
 ⑦企画政策課にある申込書(☎からダウンロード可)に必要事項を書き、8月10日(消印有効)までに郵送またはメールで〒243-8511企画政策課☎225-2451・✉1100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

ワークショップ&ミニ工作「トリーズの発明原理40」

■ワークショップ

8月20日、①11時~②12時~③14時30分~(各回45分)。「トリーズの発明原理40」の著者による、身近な工夫から発明原理を体験できるワークショップ。各回30人。☎172332

■ミニ工作

8月20日、10時~16時(12時~13時は除く)。ソニー技術士会会員らを講師に、白黒なのに回すと色が見えてくる不思議なブンブンゴマを作る。定員100人。☎172333

いずれも会場、問い合わせは子ども科学館☎221-4152。無料。●当日直接会場へ。先着順。

こどもえいがかい

8月18日、11時~11時30分=「ノantan およぐのだいすき」「つりばしわたれ」ほか。14時~14時50分=「ムーミン パベットアニメーション 世界でいちばん最後の竜」「ぼくは王さま しゃぼんだまのくびかざり」ほか。中央図書館。3歳以上各回100人(幼児は要保護者同伴)。無料。●当日直接会場へ。●中央図書館☎223-0033。

なしぶどうもぎとり優待バス

8月28日、①10時~12時②13時30分~15時30分(雨天中止)。市役所駐車場集合。依知地域の農園でなしぶどうのもぎ取りを楽しむツアー。市内在住に勤の方各回20

人。もぎとり代は実費。●往復ハガキにて住所、氏名、電話番号、希望時間、人数を書き、8月18日(必着)までに〒243-0004水引2-9-2JAあつぎ本所指導販売部☎221-2273へ。抽選。●10

あつぎYMCA こども食堂

8月19日、11時~15時。厚木YMCA。夏休みの宿題を進めることを学び、夕食を楽しむ。小・中学生と保護者50人。100円(保護者300円)。
 ⑧当日直接会場へ。●厚木YMCA☎223-1441。

「日常ながら運動」基礎講座

8月28日、10時~12時。あつぎ市民交流プラザ。日常生活の動作を一工夫して立派な運動にすることを学ぶ。市内在住の方60人。無料。
 ⑨8月1日から健康づくり課☎225-2201へ。先着順。●10

若者・女性等就職プログラム第1期参加者説明会

8月4・8・17日、①10時~②14時~。パソナ厚木支店。正社員を目指す方と市内企業とのマッチング支援の説明会。39歳以下の方または子育てなどで仕事を離れていた女性。無料。
 ⑩各回前日までにパソナ☎297-3010へ。●産業振興課☎225-2830。

子育てアドバイザー(子育て支援ボランティア)講習会

9月13・15日(全2回)、9時30分~17時。あつぎ市民交流プラザ。市内在住で、地域の子育て支援にボランティアとして関わりたい方20人。無料。託児あり(1歳以上10人。8月31日までに要予約。先着順)。保育所実習(半日)が必要。全課程修了者に認定証を交付。
 ⑪9月6日までに子育て支援センター☎225-2922へ。抽選。☎172149 ●1

ファミリー・サポート・センター提供会員を募集

地域で育児の手伝いをする提供会員を募集します。

《対象》市内在住で子どもの一時的な預かりや保育施設への送迎など

ホット インターネットモニターからの意見を紹介

いいメール Hot E-Mail

厚木市 インターネットモニター 検索

7月1日号「広報あつぎ」を読んで
 ◆バーベキューは段取りが大変でやる気が出なかったが、手ぶらでできるならばやってみよう/50代男性◆
 急な暑さに体も慣れていないため、熱中症対策や応急処置法が分かって良かった/50代男性◆
 地域で大勢の人とご飯が食べられるのは、栄養バランスも取れ、子どもも楽しく食事ができて良いと思った/30代女性

編集後記 特集に掲載するホテルを撮影するため、あつぎこどもの森公園に何度も足を運びました。夜の森を舞う何百もの輝きをカメラに収めようと必死にシャッターを切りましたが、ホテルが放つはかない光はなかなか写らず暗闇ばかり。記録よりも記憶に残った撮影でしたが、来年もたくさん舞ってほしいと願います/森本

第71回 あつぎ

鮎まつり

8月5日(土)・6日(日)

本厚木駅周辺、
相模川三川合流点ほか

厚木の夏といえば鮎まつり。今回は食べて、見て参加して楽しめる祭りの見どころを紹介します。

問あつぎ鮎まつり実行委員会 ☎295-5496

詳しくは [あつぎ鮎まつり](#) [検索](#)

絶対はずせない! 注目のイベント

食べる 本場の味が楽しめる

NZ&糸満フェア

5・6日、10時～ [マップ10](#)

ホストタウン相手国「NZ」と友好都市候補地「沖縄県糸満市」の絶品グルメが集結。



NZを代表するグルメ、ラムチョップ



食べる 食べ歩きにお勧め アユの塩焼き

5・6日、10時～ [マップ4](#)

約450の屋台が立ち並ぶ中、特にお勧めなのがアユの塩焼き。アユ本来の味と香りが楽しめます。

観る 県内外から118チームが参加

Dance Legend

5日、10時～ 6日、12時30分～

ヒップホップやチアダンス、フラダンスなどさまざまなジャンルで競います。



観る 豪華なゲストが大集合 ステージライブ

5日、12時30分～ [マップ1](#)

ミュージシャンやお笑い芸人など、さまざまなジャンルのパフォーマーが集合。祭りをより一層盛り上げます。



ダイノジ

観る 県内最大級の1万発!

参加 大花火大会

5日、19時～

[マップ16789](#)

名物のスターメインや大ナイアガラ、来場者の皆さんがさまざまなスマートフォンやライトの光で会場を照らす「あつぎSTAR☆LIGHT」など、見どころ満載。

大迫力のスターメイン



あつぎ STAR☆LIGHT

マップ



★…インフォメーション 花火…花火観覧の人気スポット 穴場…花火観覧の穴場スポット
※交通規制が実施されるため、電車・バスでご来場ください。

主なプログラム

8月5日(土)



観る オープニングパレード

13時15分～ [マップ66](#)

総勢11団体が参加し、祭りの幕が上がります。中でも、県警音楽隊とカラーガード隊は一見の価値あり。

観る ダンス・音楽ライブ [マップ8](#)

10時～/16時30分～

参加 フワフワパノラマ [マップ8](#)

13時30分～

観る タップダンス [マップ8](#)

13時30分～

参加 路上お絵かき大会 [マップ4](#)

14時30分～

観る ニューゼaland伝統舞踊 [マップ8](#)

17時～

8月6日(日)



参加 小学生鮎つかみどり

10時45分～ [マップ8](#)

約2000匹のアユを子どもたちが、夢中で追い掛けます。

観る 相模阿蘭太鼓 [マップ8](#)

10時30分～

観る 厚木ばやし・ひょっとこ踊り [マップ4](#)

12時～

観る みこしショー [マップ846](#)

12時15分～

観る 東京農大全学応援団演技 [マップ46](#)

13時15分～/14時15分～

参加 大ビンゴゲーム大会 [マップ4](#)

15時～

観る 民踊おどり [マップ46](#)

15時40分～

晩夏の夜に楽しむ音楽と食の祭典

JAZZ ATSUGI NIGHT

あつぎジャズナイト2017

本格的なジャズをおいしいグルメとともに堪能できる2日間が今年もやってきます。大学や企業をはじめ、世界で活躍するアーティストまで、バラエティ豊かなステージをたっぷり楽しみませんか。

8月24・25日
15時～21時
厚木公園

ジャズステージ、フラダンス、
フードコート、オリジナル
グッズ販売

入場
無料



出演団体

24日(木)

東京農業大学
神奈川工科大学
専修大学
LOCO ALOHA
NakamuraEmi
ジミー中山
佐々木秀尚 Group
宅間善之 Vibrasonic



NakamuraEmi
(市内出身)

25日(金)

Tobio of Doom
東海大学
北里大学
森岡マレーネ典子with「チーム・マレーネ」
nicatリオ
Gecko&Tokage Parade
日産 B&S ジャズオーケストラ
在日米陸軍軍楽隊

会場案内

本厚木駅から徒歩5分



圃商業にぎわい課 ☎225-2840

自然歳時記

● ニホンアナグマ ● イタチ科

頭胴長は40～50センチ、尾長6～12センチほどで、ずんぐりとした体形。丘陵地の森林や里山に生息し、鋭い爪で土を掘り起こしてミミズやコガネムシなどの幼虫を食べる。七沢の里山で見つけた。写真・文/吉田文雄



草刈りの終わった広場には、爽やかな風が吹きトンボが舞っていた。遠くからキビタキの声が聞こえてきて、森の豊かさを感じた。

そんな広場にこの動物が現れた。こちらに気付く様子もなく、どんどん近づいてくる。タヌキに似ていたが、地面を掘る鋭い爪と体形から、アナグマと分かった。

アナグマは切り株の辺りで土を掘り何かを食べ、階段を下りて行った。人工物にも慣れていない様子で、いつもこの辺りを自由に歩き食べ物を探しているようだった。階段を上がった時には、顔や頬にいっぱい泥を付けあどけない顔をしていた。これからの苦難に打ち勝って元気でいてくれるよう祈った。

厚木市の人口
(7月1日現在)

🏠 世帯数 9万7815世帯 (前月比86世帯増)

👤 人口 22万5539人 (前月比15人増) 男11万6589人・女10万8950人